

令和5年度第3回下関市スポーツ推進審議会 議事録

件名	令和5年度第3回下関市スポーツ推進審議会
日時	令和6年2月20日(火) 10:00~10:50
場所	下関市勤労福祉会館2階第4会議室
相手方	下関市スポーツ推進審議会
出席者	<p>【下関市スポーツ推進審議会委員】</p> <p>会長 富永 洋一(下関市体育協会 副会長)</p> <p>副会長 青木 博美(下関市スポーツ推進委員協議会 副会長)</p> <p>委員 打田 敦志(下関市中学校体育連盟 会長)</p> <p>委員 沖村 文子(下関市レクリエーション協会 理事長)</p> <p>委員 小田 智佳(下関市障害者スポーツセンター 館長)</p> <p>委員 坂岡 久美子(下関市保健推進協議会 会長)</p> <p>委員 鯖屋 雅志(下関市スポーツ少年団 本部長)</p> <p>委員 松崎 守利(下関市立大学 准教授)</p> <p>委員 三谷 禎(下関市小学校体育連盟 会長)</p> <p>委員 前田 一城(下関市総合政策部 部長)</p> <p>【下関市】</p> <p>観光スポーツ文化部 古川部長・関本部長</p> <p>スポーツ振興課 永岡課長・梶係長・河野係長・田中係長</p>
次第	<p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 議事</p> <p>【審議】</p> <p>(1) 第2期下関市スポーツ推進計画の策定について</p> <p>(2) 令和6年度スポーツ団体に対する補助金について</p> <p>【報告】</p> <p>令和5年度の主な取組状況及び令和6年度の主な施策について</p> <p>4 閉会</p>

<p>梶係長</p>	<p>ただいまから、令和5年度第3回下関市スポーツ推進審議会を開催いたします。本日は、公私共にご多忙の中お集まりいただき、誠にありがとうございます。さて、審議会の成立要件は、下関市スポーツ推進審議会条例第7条第1項の規定により委員の過半数の出席となります。本日は委員10名のうち、10名のご出席をいただいておりますので、当審議会は成立しておりますことを報告いたします。それでは、開会にあたり、富永会長がご挨拶を申し上げます。</p>
<p>富永会長</p>	<p>皆さんおはようございます。大変お忙しい中、そしてお足元の悪い中、こうしてお集まりいただきましてありがとうございます。本日はこの第2期の下関市スポーツ推進計画、この最終取りまとめをするというところでございます。前回に引き続きまして、慎重審議をお願いしたいというところであります。前回の様々な委員の皆様方のご意見はですね、今回の最終案というところで加味しているというふうに聞いております。ぜひともその辺また見ていただいて、不足とか、またご質問がございましたら、ご意見ございましたら是非とも、おっしゃっていただいて、素晴らしいスポーツ推進計画にしたいと思っております。体育からスポーツへという名称も変更して参りまして、今までどちらかという体育、教育的なイメージから、皆さんで楽しむというスポーツに変わって参りました。私が所属してる体育協会も4月から下関市スポーツ協会という名前が変わるというところであります。先日、下関市体育協会の100周年記念事業として、体操の南一輝選手をお呼びして、講演をしていただいたというところなんです。南選手は、うまくいけば5月にパリ五輪の出場が決まると。早いもので、この前東京オリンピックだったのにもうパリオリンピックなのかなというふうに思っておりますが、そういう意味で、下関から金メダリストが出るというところの期待が非常にあるということでもあります。是非とも市民の皆様で応援していただいて、下関をスポーツのまちというふうに堂々と全国に広めたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。今日は最終取りまとめでございますので、皆様のご意見を賜りますようお願いを申し上げます。どうぞよろしくお願い致します。</p>
<p>梶係長</p>	<p>ありがとうございました。それでは、議事に入ります。下関市スポーツ推進審議会条例第5条第3項の規定により、議事の進行は富永会長をお願いいたします。</p>
<p>富永会長</p>	<p>それでは、審議事項1「第2期下関市スポーツ推進計画の策定について」を議題といたします。本日が本計画の策定に関する最後の審議となりますので、どうぞよろしくお願い致します。さて、前回の審議会において、事務局から計画の素案が示され、委員の皆様からも様々なご意見を頂戴いたしました。その後、これらを反映した計画(案)に対して、1月9日から2月8日までパブリックコメントを実施したところでございます。それでは、これらを踏まえた推進計画の最終案について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>永岡課長</p>	<p>それでは第2期下関市スポーツ推進計画の最終案についてご説明をいたします。まず、本計画の策定にあたりまして、委員の皆様方から様々なご意見を頂戴し、丁寧かつ熱心にご審議をいただいておりますことを改めてお礼申し上げます。先ほど、富永会長からもご案内がありまして、昨年末に計画の素案をご審議いただいた後に、本年1月9日から2月8日まで「第2期下関市スポーツ推進計画の策定に係るパブリックコメ</p>

ント」を実施いたしました。これらを踏まえた最終案の概要と前回お示しいたしました素案からの変更点を中心にご説明をさせていただきます。

資料は冊子形式にしておりますものをご参照下さい。まず、第1章においては、推進計画の策定にあたっての趣旨と計画の位置付け、そして2024年度から5ヶ年度となる計画期間について、1ページから2ページにまとめております。詳細は割愛させていただきます。

続いて、第2章「スポーツを取り巻く現状」として、3ページでは国の「第3期スポーツ基本計画」の概要を、4ページには県の「やまぐち推進プラン2022」の概要を、それぞれ掲載しております。5ページ、6ページでは、第1期スポーツ推進計画の現状として、4つの基本方針のそれぞれに設定をしております目標指標の実績についてまとめております。7ページから15ページにかけては、昨年8月28日から9月15日にかけて実施いたしました「下関市民のスポーツに関する意識調査」の結果を調査対象のカテゴリー毎に注視すべき設問を抜粋して掲載しております。

第3章「計画の基本的考え方」では、16ページから21ページにかけて、4つの新たな基本方針と方針毎に定めた4つの目標指標及び8つの施策目標のそれぞれの考え方をまとめ、併せて施策体系図を示しております。

そして最終章第4章においては、「施策の展開」として24の具体的取組を掲載しております。まず、22ページ、23ページにかけては、基本方針①「誰もが参画できるスポーツ」の、施策目標の1つ目に、「ライフステージに応じたスポーツの推進」を掲げ、「子どものスポーツ機会の創出」や「働く世代、子育て世代のスポーツ環境の構築」、「高齢者のスポーツ機会の創出」を具体的な取組としております。また、24ページ、25ページにはもう1つの施策目標として、「スポーツを通じた共生社会づくりの推進」を掲げ、「インクルーシブスポーツの推進」や「パラスポーツの理解促進」、「パラスポーツの場の開拓」を具体的な取組としております。続いて、基本方針②「多様化するニーズに応えるスポーツ」においては、26ページ、27ページにかけて施策目標の一つ目として、「ニーズに応じた新たなスポーツ環境の構築」を掲げ、「新たな地域クラブの設立」や「スポーツ指導者の育成・活用」、「スポーツを通じた学校と地域の連携」を具体的な取組としております。また、28ページ、29ページにはもう1つの施策目標として、「競技力向上に向けた支援」を掲げ、「大会の開催支援」、「トップチームやアスリートによる技術指導」、「全国大会等出場への支援」を具体的な取組としております。続いて、基本方針③の「魅力と安心を備えるスポーツ」においては、30ページ、31ページにかけて、施策目標の一つ目として、「魅力ある施設・設備の充実と情報の発信」を掲げ、「総合体育館を活かしたイベント等の展開」や「施設の魅力向上による利用促進」、「スポーツ情報の発信」を具体的な取組としております。また、32ページ、33ページにはもう1つの施策目標として、「安心・安全を確保したスポーツ環境の整備」を掲げ、「民間施設の活用によるスポーツ振興」と「学校体育施設の有効活用」、「環境に配慮した設備の導入」を具体的な取組としております。最後に、基本方針④の「賑わいと交流を生み出すスポーツ」においては、34ページ、35ページにかけて、施策目標の1つ目として、「スポーツイベントの魅力向上と交流の拡大」を掲げ、「トップスポーツの招致」や「下関海響マラソンの魅力向上」、「スポーツによる国際交流」を具体的な取組としております。また、36ページ、37ページにはもう1つの施策目標として、「スポーツを通じたまちづくりの推進」を掲げ、「まちなかにおけるスポーツ機会の創出」、「スポーツツーリズムの推進」、「地域スポーツ団体の活動支援」を具体的な取組

	<p>としております。</p> <p>概要説明につきましては以上でございますが、続きましてパブリックコメントの実施結果について、資料1をご参照ください。繰り返しとなりますが、意見の募集期間として、本年1月9日火曜日から2月8日木曜日まで、パブリックコメントを実施しております。市民の方から提出されましたご意見は1件のみで、内容としましては競技力の向上を図るためには、優秀なコーチを多数育成することが大切とし、行政がその一翼を担うことで信頼感や継続性が担保されることから、その実現に向けた人材バンクの創設をご提案されています。意見内容の冒頭に書いてますけど、「下関アスリートコーチーズバンク」の設立に関するご提案でございました。このご意見を踏まえた変更内容として、資料2「計画素案から変更内容について」をご参照ください。基本方針2「多様化するニーズに応えるスポーツ」の施策目標1「ニーズに応じた新たなスポーツ環境の構築」の具体的取組として「スポーツ指導者の育成・活用」の項目において、前回お示した素案においては、部活動の地域移行における新たな地域クラブを想定した指導者について記載しておりましたが、この要素に加え、人材バンクの創設を視野に入れた競技スポーツ指導者の育成を含んだ内容に変更しております。また、前回の審議会において前田委員からご指摘のありましたスポーツによる国際交流について、基本方針4「賑わいと交流を生み出すスポーツ」の施策目標1「スポーツイベントの魅力向上と交流の拡大」において、素案では具体的取組を「スポーツ合宿等の積極的誘致」として、スポーツ合宿に限定した書きぶりとしておりましたが、ご指摘を踏まえ、スポーツによる国際交流の意義とコロナ禍で中断を余儀なくされた国際親善スポーツ交流事業に再び取り組むこととし、更に国内外を視野に入れたスポーツ合宿の積極的な誘致に努めるとの書きぶりに変更しております。説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。</p>
富永会長	<p>ただいまの説明について、ご意見、ご質問等はございませんか。先ほど資料2にありましたですね訂正の箇所なんですけど、この冊子でいきますと最初の上段の方が27ページの方に人材バンクの創設というところで、パブリックコメントのご意見をいただいているというところがございます。そして下の方の第4章ですね。国際交流というところは、35ページの(3)スポーツによる国際交流というところでの文章でお示しをしているというところでもあります。皆様方のご意見をこの中に入れ込んだというところでご認識をいただければなというふうに思います。</p>
三谷委員	<p>人材バンクという言葉が織り込まれてきました。どういうものをイメージされてるのか。指導者の育成であればというところでも、実際に活躍されてると思うんですよね。バンクとはどういうイメージなのでしょう。</p>
永岡課長	<p>今の部活動の地域移行におきまして、県の取り組みの中で人材バンクの創設ということで、まだデモ段階ではございますけれども、地域での指導者を新たにまとめたデータベースをつくるものを実施しております。本市におきましてもこれらを積極的に広報した上でどういった指導者がどの種目でどういった方がいらっしゃるかということをもとめたアプリを活用してやる人材バンク、これらを視野に入れておりますので、これを活用したという意味合いで記載しております。</p>

三谷委員	<p>新たな指導者を育成するっていうのが重きなのか、こういう指導者がどの競技にこういう人がいますよっていう情報を集めるのがメインなのか、多分このご意見は、今いろんな協会で、資格が複雑化してきてこの資格がないと指導できないっていうのがいっぱいあって、それを手出しのお金で、私も含めてですね、自分のお金で、その資格を取ってっていう流れのところを市とかどこかの協会が補助したらどうっていうような意見のような気もするんですよ。</p>
永岡課長	<p>その補助をするというような意味合いでこのたびは計画案には書いておりませんが、先ほど申しました通り、人材バンク、1つは今三谷委員がおっしゃったような情報提供、これが役割だと思っております。もう1つは、研修であったり、そういう集合研修を人材バンク登録者に向けて行うというようなことも今計画はされておりますので、育成という観点でも、人材登録、人材バンクに登録していただく指導者の研修を経て認定をしていくというようなことを想定はしております。競技種目ごとのそれぞれの専門、いわゆるコーチ資格について行政の方で支援をしていくという考えは、今のところ持ち合わせておりませんが、子供たちに向けた指導ということで、安全面の確保であるとか、ハラスメントの防止であるとか、そういった一定の研修は必要だと思っておりますので、そういったものを行政がしっかり支援をしていって、信頼性であったり継続性を担保していくというような意味合いで計画に反映しております。</p>
三谷委員	<p>県がやられることからの流れなので、なかなか難しいところあるんですけど、人材バンクを利用する人は誰なんですか。どういうイメージなんでしょう。</p>
永岡課長	<p>今、想定されている人材バンクの利用に関しては、新たに地域移行される地域スポーツクラブの方であったりとか、現在クラブチームとして活動しているクラブであったり、いわゆる指導者を探す、あるいは、新たに指導していただく方を探すというようなときに、活用するというようなものでございます。またこの人材バンクの中には、クラブの紹介というようなサイトも設けたいというふうに考えておりますので、こういったクラブがどここの地域で活動しているという市民に向けた情報提供の役割をするようなバンクを想定しているというふうに説明を受けております。</p>
打田委員	<p>先日パブリックコメントの期間が過ぎているのでということで、あるクラブチームの指導者と話をするときに、現状も活動をしておられるところなんですけど、市の施設を使いたいときに、クラブチームということで、減免申請とかの対象にはならないだろうかというふうに聞かれて、今からどんどん地域移行になって、いろんなクラブチームが立ち上がってる中で、減免の対象にさせていただくと大変活動しやすいんだけど、というご意見があったということをお伝えさせていただきます。</p>
永岡課長	<p>現状におきましては体育施設の設置条例の施行規則の中で規定されている減免、小中学生であるとか、あるいは体育協会が主催する大会であるとか、一定の減免規定を設けておりますので、これらが減免対象となります。本市におきましては、学校体育施設の開放業務について、無料としておりますので、学校体育施設の有効活用を含めて、積極的に施設を使っただきたいというふうに考えておりますけれども、560団体ぐらいが使っておりますので、希望通りなかなか使えないというようなご意見も頂戴し</p>

<p>富永会長</p>	<p>ております。現状におきましては、スポーツを活性化させるために減免を設けるかというところに関しては、現状私どもでは特には考えておりませんが、施設を有効活用するという意味合いでこの計画の中にも盛り込ませていただきましたが、民間施設を活用して、あるいは学校体育施設を有効活用して、市民の方にスポーツを積極的に推進していただきたいというふうには考えております。</p> <p>本日は、本計画の策定に関わる最後の審議となりますので、もしご意見ございましたら是非ともお願いをいたします。</p> <p>それではお諮りをいたします。この事務局から示された推進計画案、これを審議会として承認いたしたいというふうに思っておりますが、いかがでしょうか。よろしければ挙手をお願いをいたします。</p> <p>ありがとうございます。全員一致というところで、この計画案を市長の方に答申をいたします。どうぞよろしくをお願いをいたします。以上で第2期下関市スポーツ推進計画の策定に係る審議は終了いたします。</p> <p>続いて、審議事項2「令和6年度スポーツ団体に対する補助金について」を議題といたします。</p>
<p>梶係長</p>	<p>「令和6年度スポーツ団体に対する補助金について」説明させていただきます。資料は、A4の「令和6年度スポーツ団体に対する補助金について」をご覧ください。スポーツ団体に対する補助金の交付につきましては、スポーツ基本法第35条の規定により、スポーツ推進審議会の意見を聴くこととされておりますので、資料に沿ってご説明させていただきます。まず、「体育協会育成業務補助金」です。こちらは、市民体育の普及や競技スポーツの推進を目的に下関市体育協会が行う競技スポーツ推進事業及びスポーツイベント開催事業に対して補助するものです。令和6年度の予算額につきましては、令和5年度と同額の493万6千円を計上しております。次に「下関市スポーツ少年団育成業務補助金」です。こちらは、少年スポーツ活動の振興を図るため、下関市スポーツ少年団が行う加盟団体交流育成事業に対して補助するものです。令和6年度の予算額につきましては、令和5年度と同額の79万5千円を計上しております。次に、「下関市国際親善スポーツ交流大会補助金」です。こちらは、本市の姉妹都市や友好都市とスポーツを通じて両市の友好を深めるため、関釜親善スポーツ交流大会等の開催に対する補助金です。令和6年度の予算額につきましては、関釜親善スポーツ交流大会の開催が釜山市となることを考慮して、令和5年度から増額の112万6千円を計上しております。次に、「スポーツ大会開催補助金」です。こちらは、競技技術の向上や地域の活性化を目的に、本市で開催されるスポーツ大会のうち、参加者の延べ宿泊数が一定数以上ある大会に対して補助しており、令和6年度の予算額につきましては、令和5年度と同額の180万円を計上しております。次に、「地域スポーツ活動振興業務補助金」です。こちらは、すべての市民がスポーツに親しむことができるように、市内の小中学校区単位で作られた47のスポーツ振興会それぞれが実施している地域でのスポーツ活動を支援するものです。令和6年度は合計で640万5千円を計上しております。次に、「スポーツ合宿等誘致促進補助金」です。こちらは、スポーツに</p>

	<p>よる交流人口の拡大及び地域の活性化を図るため、市内でスポーツ合宿を実施する団体又は個人に対して、1人当たり1泊につき2千円を補助するものです。令和6年度の予算額につきましては、令和5年度の実績等を考慮して、令和5年度から増額の260万円を計上しております。次に、「スポーツ行事開催に対する補助金」です。生涯スポーツの推進等を図るため、地域のスポーツ行事に対して補助するものです。具体的には、「ビーチバレーボールフェスティバル」、「菊川スポーツフェスティバル」、「豊田の新春走ろう大会」、「豊浦リフレッシュマラソン」、「維新海峡ウォーク」、「下関歴史ウォーク」の6つのスポーツイベント開催に対する補助金で令和6年度の予算額につきましては、いずれも令和5年度と同額を計上しております。最後に、「スポーツ施設整備費補助金」です。こちらは、多様化するスポーツ施設のニーズに対応するため、令和6年度に新設する補助金です。具体的には、市民利用に供することを目的として、スポーツ施設等を改修又は新設する法人や下関市体育協会に加盟するスポーツ団体に対して、工事費等の補助をするものです。予算額につきましては、1,350万円を計上しております。以上、「令和6年度スポーツ団体に対する補助金について」の説明を終わります。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。</p>
富永会長	<p>ただいまの説明について、ご意見、ご質問等はございませんか。</p>
三谷委員	<p>一番最後のスポーツ施設整備費補助金のところですが、さっき学校の施設開放を進めるようなお話もありますけど、学校は対象になってるんですか、ないんですか。</p>
永岡課長	<p>来年度から施行したいというふうに考えている補助金でございますけれども、まず公共施設マネジメントというところで、各自治体において公共施設の総量を減らすというような計画が今それぞれ作られております。体育施設におきましても、体育施設の個別計画というものを策定いたしまして、施設全体を減らしていくという計画にしております。一方で市民の方々からは、たくさんのご意見、多様なニーズ、こういった施設が欲しいというものをいただいております。この制度につきましては、法人、企業を想定してはございますけれども、事業者が独自に新たに施設を新設する、あるいは、既存の体育施設、会社で言いますと厚生施設等について、新たに空調を入れるんだとか、あるいは、グラウンドに照明を設置するんだとか、それを市民の利用に供するというを前提とした上で、市が一定の補助をするという制度でございますので、学校体育施設は想定はしていません。</p>
富永会長	<p>ほかにごございますでしょうか。</p> <p>続きまして報告事項に移ります。「令和5年度の主な取組状況及び令和6年度の主な施策について」を議題といたします。事務局より説明をお願いいたします。</p>
永岡課長	<p>それでは、第1期下関市スポーツ推進計画に基づく、令和5年度の主な取組についてご報告いたします。右肩に資料4と記載しておりますものをご参照ください。</p> <p>まず、基本方針1「生涯スポーツの推進」については、子どもから高齢者まで多世代に親んでもらう取組として集合型のイベントを実施しております。下関市体育協会を中心とした各種スポーツ団体が連携をして「市民スポーツフェスタ」を10月9日に開</p>

催し、436人の方に様々なスポーツを体験していただいております。また、10月22日には総合型地域スポーツクラブ連絡協議会と本市が共催し、市障害者スポーツセンター及び県パラスポーツ指導者協議会、市レクリエーション協会、市スポーツ少年団の協力のもと、ニュースポーツやパラスポーツをはじめ、多彩なプログラムに395人の方にご参加いただいております。さらに日本トップリーグ連携機構が主体となり、親子で楽しく身体を動かす「あそびバ！」や一度に複数の種目が体験できるキッズチャレンジを展開するSOMPOボールゲームフェスタを3年続けて開催しております。なお、幼少期からのスポーツ体験が生涯にわたりスポーツを継続することにも繋がることから、本市では、ACP（アクティブチャイルドプログラム）に力を入れており、多くの子どもたちに運動遊びを体感していただいております。

続いて基本方針2「競技力の向上」においては、トップアスリートに触れる体験として、プロ野球独立リーグの北九州下関フェニックスやVリーグDIVISION1に所属するバレーボールのJTサンダーズ広島にご協力をいただき、スポーツ教室を開催しております。また、コロナ禍において中止が続いておりました各種大会も再開されたことから、スポーツ団体及び選手個人を支援する取組として、全国大会等出場及び優勝賞賜金を交付したほか、参加チーム等が本市への宿泊を要する大会等で一定の要件を満たした場合、開催に係る経費を一部補助しております。さらにスポーツ合宿につきましても積極的な誘致を進め、予算の上限に達するお申込みをいただき、本市体育施設の有効活用や、スポーツ交流が図られたほか、本市の活性化に寄与しております。続いて表彰については、維新海峡ウォーク及び下関歴史ウォークの「歩く部門」、ワールドしものせきの「乗る部門」、下関海響マラソンの「走る部門」、この3つの部門の認定対象大会を、完歩・完走された方を「海響アスリート」として認定する制度において、金アスリート29人、銀アスリート20人、銅アスリート23人の合計72人を新たに認定し、2月8日に認定証贈呈式を実施しております。また全国大会等で優秀な成績を収めた個人・団体の栄光を讃えるスポーツ栄光賞においては、15人・1団体が表彰要件を満たすことから、来月28日に贈呈式を行うこととしております。さらに委員の皆様方もご承知かと存じますが、本市出身の体操競技、南一輝選手がベルギーで開催されました世界体操競技選手権大会において団体で金メダル、個人種目別床運動で銀メダルを獲得されたことから、本市3例目となります下関市スポーツ栄誉賞を贈呈しております。

続いて、基本方針3「スポーツの場と施設の充実」においては、現在建設中で本年6月に竣工し、8月に供用を開始いたします下関市総合体育館の整備事業を進めております。1月末現在の工事の進捗率は、計画82.4%に対しまして実績も82.4%で、工事に遅延は発生しておりません。また、下関市総合体育館の長期的・継続的な運営基盤を確立するために導入をいたしましたネーミングライツ・パートナーの公募において、5社の応募をいただき、選定委員会を経て、株式会社ケーブルネット下関がネーミングライツパートナーとして決定しております。体育館の愛称はJ:COMアリーナ下関、ネーミングライツ料は税抜きで年額700万円、契約期間は本年8月から令和11年3月までの5ヶ年度となります。今後はこの愛称を積極的に使用し、市民の皆様から親しまれる施設として愛称が定着するように努めてまいりますので、委員の皆様方におかれましてもどうぞよろしくお願いいたします。J:COMアリーナ下関につきましては、完成いたしますと県内最大の面積を有するアリーナとなります。これまで施設基準を満たすことができず開催することが出来なかったトップスポーツの興行等も可能

となりますので、「みるスポーツ」についても充実することが期待されます。維持管理及び運営は本整備事業の特別目的会社「あすも下関株式会社」が指定管理者となり、構成企業であるミズノが実際の運営を行ってまいります。また、下関北運動公園に設置しておりますオーヴィジョンスタジアム下関のスコアボードをフルカラーLED方式に更新する工事を現在行っております。こちらは本年5月末の完成で、6月から供用開始を予定しております。完成後はスコア表示のほか、ボード全体で動画等を配信することが可能となるため、野球の試合のみならず、多用途での演出効果に利用されることが想定されます。

最後に基本方針4「スポーツによる地域活性化」においては、本市が球団発祥の地であるDeNAベイスターズと福岡ソフトバンクホークスのファーム交流戦を6月に開催しております。そのほか、J2リーグレノファ山口の公式戦や独立リーグ北九州下関フェニックスの公式戦、B3リーグ山口パッツファイブの公式戦をいずれも下関ホームゲームとして開催しております。また、本市の一大スポーツイベントである下関海響マラソンを11月5日に開催しております。従来のコースでありました長州出島が企業誘致等の関係で使用できなくなることから、今大会から新たな日本陸上競技連盟公認コースとして大会を開催しております。申込者が9,056人とフルマラソンの定員10,000人達していない状況が2022年大会から続いており、全国各地のマラソン大会においてもエントリーが低調で、コロナ禍から回復が出来ていない状況ですが、更なる魅力向上を図り、ランナーから再び選ばれる大会にしていく必要があると考えております。なお、本大会がもたらした経済効果については山口経済研究所に調査を依頼しており、大会参加者の消費がもたらした効果と、大会事業運営費がもたらした効果を合計いたしますと、合計で約4億6,094万円の経済波及効果があり、スポーツによる地域活性化に一定の効果があったと考えております。

続きまして、資料3ページ令和6年度の主な施策についてでございますが、先ほどご承認いただきました第2期下関市スポーツ推進計画の基本方針に沿って主なものをご説明いたします。

まず、基本方針1「誰もが参画できるスポーツ」においては、インクルーシブスポーツ推進事業を計画しております。インクルーシブとは、「すべてを包括する、包み込む」という意味でございますが、年齢、性別、障害の有無にかかわらず、誰もが楽しめるスポーツを推進してまいります。事業概要といたしましては、J:COMアリーナ下関の供用開始を契機に、インクルーシブスポーツ啓発動画による広報や地域のスポーツ関係団体、地元企業と連携したスポーツフェスタを開催し、スポーツを通じた共生社会の実現を図るものでございます。

続きまして、基本方針2「多様化するニーズに応えるスポーツ」においては、運動部活動の地域移行実証事業を計画しております。学校部活動を取り巻く課題の解決を図り、子どもたちがスポーツに親しむことができる環境を構築するため、令和5年度に引き続き、運動部活動地域移行実証事業を行い、子ども達のニーズの把握や指導者の確保、受け入れ体制の整備等について、検証を行うものでございますが、令和5年度の4事業から拡充して7事業を実施することとしております。

続きまして、基本方針3「魅力と安心を備えるスポーツ」においては、新旧体育館メモリアル事業を計画しております。本年8月に新たなスポーツ拠点施設としてオープンするJ:COMアリーナ下関を広く市民に周知するとともに、61年間の歴史に終止符を打つ下関市体育館の開・閉館セレモニー及びメモリアル事業を実施いたします。現

	<p>在、供用開始を本年8月5日月曜日に予定しておりますので、その前日となる8月4日日曜日に開・閉館セレモニーを計画しております。また、J:COMアリーナ下関の開館を記念したメモリアル事業として、トップアスリートによるトークショーやエキシビションを企画するほか、トップスポーツの公式戦として卓球のTリーグ公式戦の誘致を進めております。さらに、バレーボールの世界大会やオリンピック出場経験者12名からなるドリームチームによるイベントの開催も決定しております。こうしたメモリアル事業を令和6年度に順次開催することで、J:COMアリーナ下関を広く市民の方に周知して行きたいと考えております。</p> <p>最後に基本方針4「賑わいと交流を生み出すスポーツ」においては、下関海響マラソンの更なる魅力向上を図ってまいりたいと考えております。本年は11月3日の文化の日の開催となりますが、フルマラソン定員10,000人、2kmファンラン定員500人で、5月17日からエントリーを受け付けます。フルマラソンの参加料を昨年の13,000円から1,000円値下げして12,000円としておりますので、委員の皆様方も広報にご協力いただければと思っております。説明は以上でございます。よろしくお願いたします。</p>
<p>富永会長</p>	<p>ただいまの説明について、ご意見、ご質問等はございませんか。</p>
	<p>新体育館のメモリアル事業とかセレモニーの内容ってのはまだ正式に決まってないですよ。</p> <p>すべてが決まっておられませんけれども、まず、アスリートによるトークショー、エキシビションについては、冒頭会長からもご紹介いただいた南選手に会場していただきたいと思っております。今調整をしております。ご挨拶の中にもございましたけれども、本年がパリオリンピックでございまして、8月の11日までがパリオリンピックの会期となっております。これ以降のできるだけ早い週末で、本市出身の南選手を含めたエキシビションができればということで現在進めております。トップスポーツ公式戦、先ほど少し触れましたけれども、卓球のTリーグというところで、本市が令和7年度全国高等学校総合体育大会、インターハイの引き受け2種目ほどしております。1つは卓球競技で、1つが新体操種目になりますけれども、卓球開催に合わせまして、機運醸成という意味も含めまして今、Tリーグの誘致を進めております。秋口の開催ということでほぼほぼ実現できそうだという状況に今きております。これもパリオリンピックで卓球競技が盛り上がりましたら非常に秋口に賑わった公式戦になるんじゃないかというふうに考えております。これも週末、土曜日、日曜日にそれぞれ男子女子の試合ができればということで、現在調整をしております。3点目の世界大会オリンピック出場経験者によるドリームチームというのが、はつらつママさんバレーボールというような事業を宝くじの事業で実施しております。令和6年度については全国で4自治体開催される中のうち、1つが本市で開催されるということで、新しい体育館の竣工を記念して、ドリームチームが本市に来ていただいて、ママさんバレーボールチームとのエキシビションマッチであったりとか、あるいは、子供たちのバレーボール教室であったり、こういったものを自由に見ていただくようなイベントを計画しているところでございます。</p>

<p>富永会長</p>	<p>皆様方からご意見、ご質問等はございませんか。</p> <p>ないようですので、「令和5年度の主な取組状況及び令和6年度の主な施策について」報告済みといたします。</p> <p>以上で本日の議事は全て終了いたしました。本日の内容以外でも構いませんが、何か皆様方からご質問ご意見ございましたらお願いをいたします。</p> <p>来年、体育館ができることを機会にいろんなやっぱりトップアスリートがくると面白いですね。山口県にもレノファ山口もあったり、バレーン下関もあったり、山口パッツファイブもあったり、北九州下関フェニックスもあったり、いろいろとそういう方たちもおられる。女子の野球について、今ジャイアンツの監督は宮本さんなんですよ。だからそういうのも来て指導していただくと、ちょっと女子の方の野球も盛り上がってくるのかなっていうことで、是非ともご検討よろしく申し上げます。</p> <p>ほかに何かございますでしょうか。何かありましたら、スポーツ振興課事務局の方にお伝えをいただければなというふうに思っております。</p> <p>ないようでございますので、ここで私は議長降りて、進行事務局にお返しをいたします。円滑な議事進行にご協力いただきまして誠にありがとうございました。</p>
<p>梶係長</p>	<p>富永会長ありがとうございました。以上をもちまして、令和5年度第3回下関市スポーツ推進審議会を終了いたします。策定した推進計画につきましては、製本後、委員の皆様へ送付させていただきます。長期間に渡りご審議をいただき、ありがとうございました。</p>